

論文概略

論文タイトル	Understanding stand-to-sit maneuver:Implications for motor system neuroprostheses after paralysis
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 51 Number 9 Page 1339 - 1352
出版年	2014 年

支援機器	Neuroprosthesis
分類(ISO9999)	06：義肢装具
試験相	第0 相試験
研究仮説（目的） の概要	neuroprosthesis を使用した着座動作において、健常者と脊髄損傷（Spinal Cord Injury：SCI）患者とを比較し、着座時の衝撃力、上肢の力、垂直加速度および下肢の運動学的特徴を明らかにすること
研究デザイン	群間比較（同時対象）
障害・疾患	脊髄損傷
対象者・数	健常者5人 障害者5人
主要アウトカム	着座時の衝撃力
副次アウトカム1	上肢の支持力
副次アウトカム2	下方の加速度
副次アウトカム3	膝屈曲角度
副次アウトカム4	試行時間
副次アウトカム5	股関節屈曲角度
統計学的検定	有
結果の概要	健常人と比較して約2 倍の衝撃力で体重の 1.4 倍の衝撃力が加わっている

論文整理番号 72 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター